

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。  
全国的に田んぼでウンカの被害が拡大しているとのことで、心配しています。  
このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、  
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。  
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、  
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 奈良・町家の芸術祭 はならあと 2020 にて給食お話し会

■ 1 ■ 奈良・町家の芸術祭 はならあと 2020 にて給食お話し会

11月1日、奈良・町家の芸術祭 はならあとのサステナブル講座で「学校給食を中心としたオーガニックなまちづくりのお話し会」と題してお話させていただきました。

以下の内容をお話しし、集まった13名のみなさんと交流をしました。

1. 奈良の学校給食を考える会のあゆみ
2. 奈良県内での活動のひろがり（大和郡山市、橿原市、奈良市、宇陀市）
3. 世界や全国の状況～子どもたちの給食を有機食材にする全国集会報告

今回ご参加くださった方はほとんどが学校給食を食べる年齢の子どもを持つお母さん。「学校給食のこと気にはなっていたけど…この場所だから参加できました」という方が多く、機会をいただいたはならあとに感謝です。

交流会では様々な話がでました。例えば、現在オーガニック給食が広がりつつある背景には2006年に有機農業推進法ができたことがあります。法律ができればそれに基づいた予算ができる、そのような予算を使ってやれることを探したり、同じ市の中でも保健給食課と農林課のコラボレーションを提案してやれることの幅を広げたり、時代の要請にうまく応えていくことで可能性が広がるという話。

地場産率を向上したい場合、野菜を毎日学校の給食室までだれが運ぶのか、実際に地場野菜を作る農家がいるのか、などの問題をひとつひとつ具体的に解決していく必要があるのでは、敵対ではなくみんなで知恵を出し合う必要があるという話。

化学物質過敏症で農薬や柔軟剤の香りでも体調を崩すようになってしまったが、学校の先生にも他の保護者にもまだあまり知識がない中で、給食着の洗濯の事などをどのように伝えれば解決につながっていくのかというような話。

困っていること、悩んでいること、なんとなく不安なことなど、ひとりで抱えていると思い詰めてしまいますが、今回の交流会も、みんなで話すことで視野が広がり、気持ちが軽くなったり解決に近づいたりする時間になったと思います。学校給食を中心としたまちづくりをテーマに卒論を執筆中の学生さんが参加してくれたのも嬉しいことでした。

いまは「誰か偉い人に任せていたら、うまく進めてくれるだろう」とお任せでいられる時代ではありません。学校給食についても、まず関心を持つこと、そして仲間と一緒に楽しく、自分たち（子ども自身や保護者）の手に取り戻していくことが大切だと思っています。今回は橿原市で開催したので、橿原の仲間がたくさんできました。また場所を変えて交流会を開催したいと思っています。

-----  
生産量を格段に伸ばし、高品質の農産物をつくる有機栽培講座  
「栽培技術セミナー」

第3回 アミノ酸肥料と水溶性炭水化物の施肥技術と産地形成の実践例  
日時：11月17日（火）13:00～16:00 講師：元木雅人 イベントID：16201727

第4回 未来を創る BLOF 理論～無農薬・高品質・多収穫栽培を成功させるために  
日時：1月27日（水）13:00～16:00 講師：小祝政明 イベントID：16201728

会場：ミグランス 橿原市役所分庁舎4F コンベンションルーム（近鉄大和八木駅）  
参加費：無料

申込：コープ自然派奈良 メール eventnara@shizenha.co.jp  
TEL 0120-408-300（携帯からは088-603-0080）

※オンライン参加ご希望の方はメールにてお申込みください。

-----  
●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）  
E-mail：oishiikyusyoku@gmail.com

facebook：https://www.facebook.com/oishiikyusyoku

事務局：生活協同組合コープ自然派奈良内（奈良市今市町40-1）  
-----